

Gebrauchsanleitung
Instruction Manual
Manuel d'Utilisation
Manual del Usuario
Manuale dell' Utente
繁體中文說明書
簡體中文說明書
取扱説明書

Rollei
Personal Digital Entertainment



da**8535** Prego

www.rollei-asia.com

目次

全般的注意事項	5	基本的な撮影方法	
各部の名称	6	静止画の撮影	23
バッテリーを入れる	8	Qモードを使う	24
バッテリー容量低下警告ランプ	8	画像サイズと画質の設定	25
バッテリータイプについて	8	ズーム機能を使う	26
SDメモリーカードを挿入する	9	フラッシュを使う	27
カメラのメモリーについて	9	マクロ機能を使う	28
DCFプロトコル	9	セルフタイマーと 連続撮影モードを使う	29
ディスプレイ設定	10	絞り優先モードを使う	30
表示言語の設定	10	シャッタースピード 優先モードを使う	31
日付と時間の設定	11	マニュアル露出モードを使う	31
LCDモニターについて	12	動画の撮影	32
撮影画面	12	動画サイズの設定	32
再生画面	13	音声を録音する	33
LCD表示の変更	14	音声ファイルを再生する	33
基本操作		音声メモを記録する	34
電源のオンとオフ	15	音声メモを再生する	34
省エネ機能	15	その他の記録機能	
画面と撮影モードの変更	16	測光方式を設定する	35
撮影画面と再生画面の変更	16	ホワイトバランスを設定する	35
ASMモードの選択	17	ISO感度を設定する	36
メニューの使い方	18	露出値をマニュアルで設定する	36
撮影メニュー	18		
設定メニュー	20		

ハイライトを設定する -----	36	画像の編集 (静止画のみ)	
シャープネスを設定する -----	37	静止画を回転する -----	46
写真編集 (効果) を設定する -----	37	画像サイズを調整する -----	46
日付スタンプを設定する -----	37	画像に特殊効果を追加する -----	47
手ぶれ軽減機能を設定する -----	38	画像にフォトフレームを追加する -----	47
フェイストラッキングを設定する -----	38	ファイルのコピー -----	48
フォトフレームを設定する -----	38	DPOF -----	49
		起動画像の選択 -----	50

再生

ファイルの再生

静止画を再生する -----	39
動画を再生する -----	39
静止画を拡大してトリミングする -----	40
サムネイルを見る -----	41
スライドショーを表示する -----	41

ファイルの消去

単独ファイルを消去する -----	42
複数のファイルを消去する -----	43
全ファイルを消去する -----	43

ファイルのプロテクト

単独ファイルをプロテクトする -----	44
全ファイルをプロテクトする -----	45
複数ファイルをプロテクトする -----	45

他の機器に接続する

テレビとの接続 -----	51
コンピュータとの接続 -----	52
カードリーダーを使う方法 -----	52
USBケーブルを使ってカメラを コンピュータに接続する方法 -----	52

付帯情報

フォルダと ファイル名について -----	53
フォルダ構造 -----	53
ファイル名 -----	53
故障かなと思ったら -----	54
仕様 -----	55
機能一覧表 -----	56



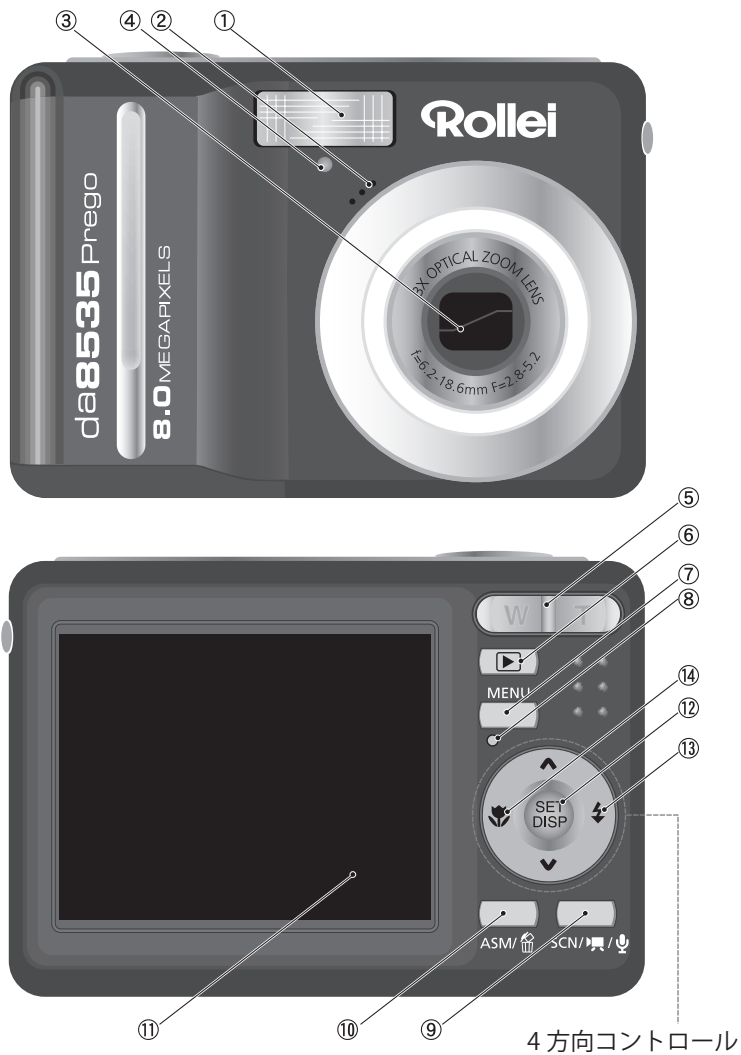
全般的注意事項

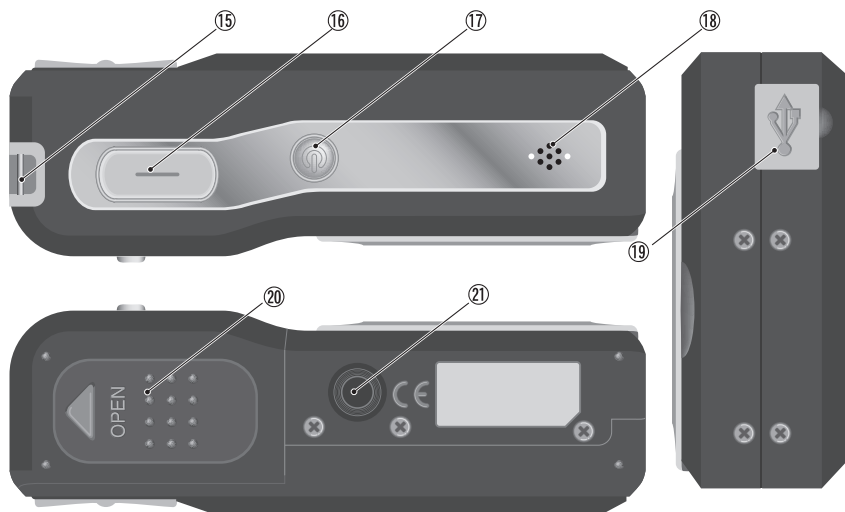
- カメラをお使いになる前にこの説明書に記載した安全のための注意事項を必ずお読みください。また、カメラは必ず正しくお使いください。
- カメラを太陽や強い光源に直接向けないでください。目に障害を起こす場合があります。
- カメラのボディを開けたり、ご自分で修理を試みたりしないでください。内部には高電圧部品が組み込まれているので、触れると電気ショックを起こすことがあります。保守や修理が必要な場合は認定代理店に依頼してください。
- 動物や人、特に子供の目の直前でフラッシュを使わないでください。目の障害を起こす場合があります。特に、幼児の場合、フラッシュは少なくとも1メートル離れた位置で使ってください。
- カメラが水やその他の液体に触れることがないようにご注意ください。濡れた手でカメラを使わないでください。湿気により電気ショックを起こすことがあります。
- カメラの損傷を防ぐため、カメラやアクセサリは動物や子供の手の届かない場所に保管してください。
- カメラから煙や不自然な臭気が発生した場合はすぐに電源を切り、お近くの認定修理代理店に持ち込んでください。決してご自分で修理しないでください。
- 推奨された電源アクセサリだけをご使用ください。本機のために推奨する以外の電源をお使いになると、過熱や機器の歪み、発火、電気ショックまたはその他の危険が発生する場合があります。

注意

- 実際に梱包されるアクセサリは異なる場合があります。
- (*)表示の品目はオプションアクセサリです。
- 充電器のプラグ形状はカメラをお買い求めの場所により異なる場合があります。
- ストラップを持ってカメラを振り回さないでください。

各部の名称



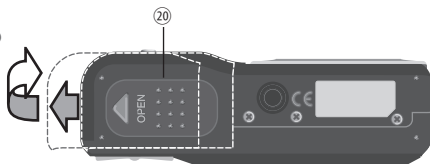


- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ①フラッシュ (P27) | ⑪ LCD モニター (P12,13) |
| ②マイク | ⑫ SET/DISP ボタン (P14) |
| ③レンズ | ⑬ フラッシュボタン (P27) |
| ④セルフタイマーランプ | ⑭ マクロボタン (P28) |
| ⑤ズームボタン (P26) | ⑮ ストラップ受 |
| ●サムネイル (P41) | ⑯ シャッターボタン (P23,32) |
| ●再生ズーム (P40) | ⑰ 電源ボタン (P15) |
| ⑥再生ボタン (P16) | ⑱ スピーカー |
| ⑦メニューボタン (P18) | ⑲ USB/AV ターミナル (P21, 52) |
| ⑧操作ランプ | ⑳ バッテリーカバー (P8,9) |
| ⑨モードボタン (P16) | ㉑ 三脚ソケット |
| ⑩ASM/ 消去ボタン (P17) | |

バッテリーの装填

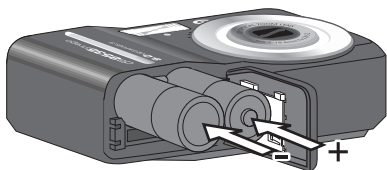
1 バッテリーカバーを開ける

カメラの底部のバッテリーカバー⑳を矢印の方向に引き上げます。



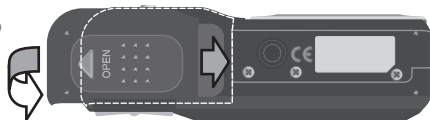
2 バッテリーを装填する

バッテリー収納部内部に表示されている方向にバッテリーの陽極(+)と陰極(-)を合わせて単3バッテリー2個を入れてください。



3 バッテリーカバーを閉める

バッテリーカバー⑳を1の図の矢印と反対方向に閉めます。



バッテリー容量低下警告ランプ

バッテリーの容量が終りに近くなると、LCDモニター⑪のバッテリー表示()が容量低下警告表示()に変わります。この警告()が表示された場合はすぐにバッテリーを交換してください。

さらにバッテリー容量が無くなると「バッテリーを充電してください」と警告が表示され、間もなく電源が切れます。※ただし、充電式バッテリー以外は絶対に充電はせずに、新しいバッテリーに交換してください。

バッテリータイプについて

バッテリー交換後、設定メニューに従ってバッテリータイプを設定してください。(P22)

! ご注意

- 本取扱説明書で指示されていない、不適切なバッテリーと交換すると爆発する危険があります。
- バッテリーを出し入れする場合は、必ずカメラの電源を切ってください。
- 同梱のバッテリーのご使用をお勧めします。その他互換性のあるバッテリーについては「バッテリータイプ」をご参照ください。(P22)
- バッテリーは必ず2個同時に交換してください。新しいものと古いもの、または他メーカーのバッテリーを混ぜて使わないでください。
- カメラを長期間使わない場合はバッテリーを抜いておいてください。
- カメラを長時間使用するとカメラが温くなる場合がありますが、これは故障ではありません。

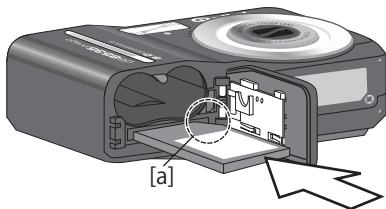
SDメモリーカードを挿入する

このカメラはSDメモリーカードを使用します。カード挿入スロットは、バッテリーカバーを開けた状態でバッテリー収納部の隣に設けられています。

1 バッテリーカバーを開ける (P8 ページ参照)

2 SDカードを挿入する

ラベルを上にした状態 ([a]の部分にカードの切り欠きがあります) で矢印の方向にカードを挿入してください。



? ヒント カードを取り出すには、カードの端を軽く押してカードのロックを解除してください。その上でカードを引き出し、バッテリーカバーを閉じてください。

3 バッテリーカバーを閉める (P8 ページ参照)

カメラのメモリーについて

カメラには内部メモリーが内蔵されています。メモリーカードが挿入されていない場合、カメラで記録した静止画や動画は内部メモリーに保存されます。メモリーカードが挿入されている場合は、静止画や動画はメモリーカードに保存されます。

DCF プロトコル

画像ファイルデータのフォーマットやメモリーカードのディレクトリ構造はDCFプロトコルで定義付けが行われます。DCFカメラで記録した画像は他のメーカーのDCF対応カメラでも見ることができます。

! ご注意

- ※カメラの電源を入れたままカードを取り出すと故障する場合があります。
- ※カードの裏側の接続端子に手を触れないでください。

ディスプレイ設定

お買い求め後、最初にカメラをお使いになる前に、表示言語と日付/時間を設定してください。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

言語の設定

1 カメラの電源を入れ、再生ボタン⑥→、メニューボタン⑦の順に押してメニュー画面を表示します。[図1]

2 4方向コントロールを使って「Setup」を選びます。[図2]
SETボタン⑧を押して決定します。
これで「Setup」メニュー（設定メニュー）になります。

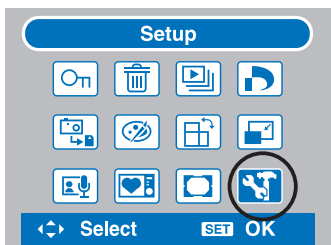
3 4方向コントロールの▼または▲を押して[Language]を選択し、次に▶またはSETボタン⑧を押してサブメニューを立ち上げてください。[図3]

4方向コントロールの▼または▲を押して言語を選択し、次にSETボタン⑧を押して設定を有効にしてください。

メニューボタン⑦を押してメニュー画面を閉じてください。



[図1]



[図2]



[図3]

日付 / 時間の設定

1 電源を入れ、セットアップメニューにカメラを設定してください。
(P10、「言語の設定」**1**～**2**参照)

2 4方向コントロールの▼または▲を押して日付と時間を選択します。

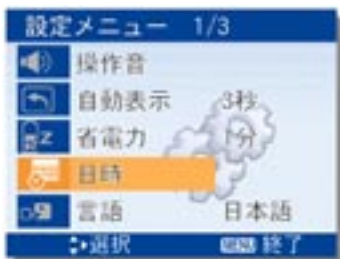
[図4]

次に▶またはSETボタン⑫を押してサブメニューを立ち上げてください。

3 4方向コントロールの▼または▲を押し、カーソルが置かれている箇所の数値を変更します。

次の項目を設定するにあたってカーソルを左右に移動するには▲または▼を押してください。[図5]

入力が終了したら、SETボタン⑫またはメニューボタン⑦を押し、設定を登録してください。



[図4]



[図5]

? ヒント

4方向コントロールの▼または▲は、押し続けると数値は連続的に変化します。画像に日付表示をするには、P37「日付スタンプを設定する」をご参照ください。

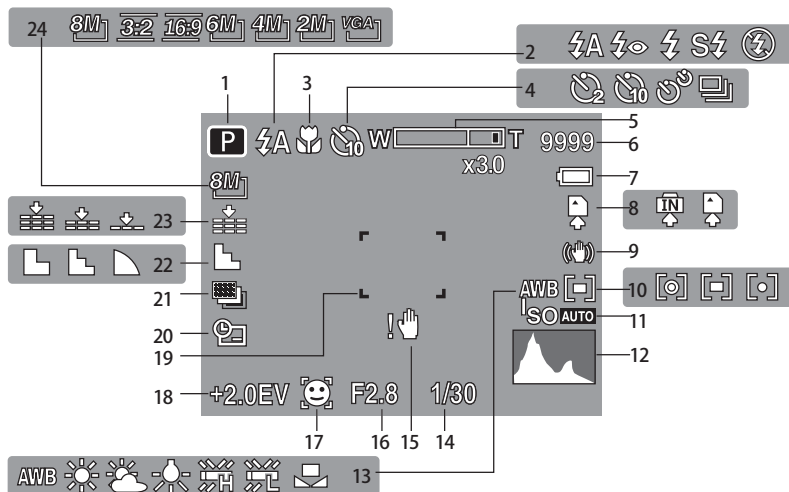
! ご注意

※48時間以上バッテリーを取り出したままにした場合、日付と時間を再設定する必要があります。

LCD モニターについて

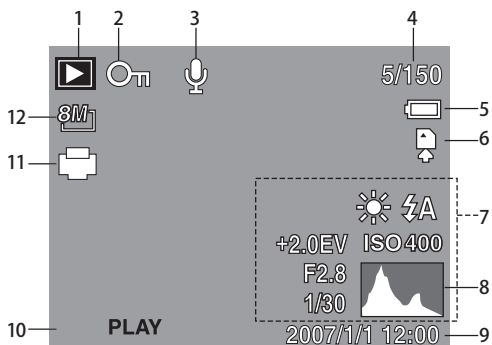
撮影中に撮影モードの変更を行う場合や、設定を調整したり画像を再生したりする場合にLCDモニターを利用します。画像を記録する間や再生中にLCDモニターに以下の表示が出る場合があります。

撮影画面



1. 撮影画面 (撮影モード表示) (P16)
2. フラッシュ (P27)
3. マクロ (P28)
4. セルフタイマー / 撮影 (P29)
5. ズームインジケータ (P26)
6. 残りショット数
7. バッテリー (P8)
8. 画像保存メディア (P9)
9. 手ぶれ軽減 (P38)
10. 測光方式 (P35)
11. ISO (P36)
12. ヒストグラム
13. ホワイトバランス (P35)
14. シャッタースピード (P23)
15. 手ぶれ警告 (P23)
16. 絞り値 (P23)
17. フェイストラッキング (P38)
18. 露出 (P36)
19. フォーカスエリア (P23)
20. 日付スタンプ (P37)
21. AEB (P36)
22. シャープネス (P37)
23. 画質 (P25)
24. 解像度 (P25)

再生画面



1. 再生画面 (P16)
2. プロテクト (P44)
3. 音声メモ (P34)
4. ファイルナンバー/合計ファイル数
5. バッテリー (P8)
6. 保存メディア (P9)
7. 撮影データ (P14)
8. ヒストグラム
9. 撮影日と時間
10. ボイスメモ設定 (P34)
11. DPOF (P49)
12. 解像度 (P25)

! ご注意

- 他のカメラモデルで撮影した画像を表示する場合、上記の何れかの情報が表示されない場合があります。

LCD 表示の変更

SET/DISPボタンを押すと以下のようにLCDの表示が変わります。

■撮影画面



(A) OSDオン

(B) フルOSD

(C) 指標線

(D) OSDオフ

? ヒント ●撮影する前に指標線を参照すると構図が容易に決められます。

■再生画面



(A) OSDオン

(B) フルOSD

(D) OSDオフ

! ご注意

●以下の状況下ではLCD表示の変更はできません。

- マニュアル露出
- 動画撮影または音声録音中
- 動画または音声を再生中
- スライドショーの途中
- サムネイルを見ている途中
- 静止画のトリミング中

基本操作

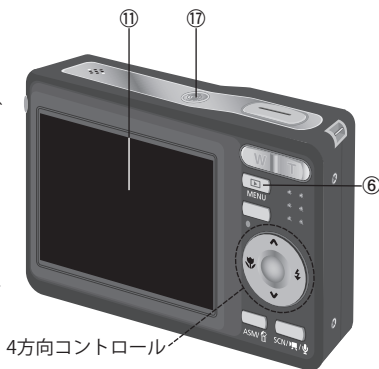
電源のオンとオフ

1 電源ボタン⑰を押し、撮影画面でカメラの電源を入れます。

●電源が入ると、レンズが前にでてグリーンLEDが点灯します。

2 再生ボタン⑥を押して再生画面でカメラの電源を入れます。

●電源が入ると、画像がLCDモニター⑪に表示されます。



3 電源ボタン⑰を再度押すと電源が切れます。

●電源が切れ、レンズが引っ込んでLEDが消灯します。

? ヒント

- 電源ボタン⑰または再生ボタン⑥を1.5秒以上押し続けると起動音や作動音なしでカメラの電源が入ります。
- 撮影モードと再生画面の切り替えをします。(P16)

省エネ機能

バッテリー電力節約のため、最後の設定(または工場出荷前の設定)後、1分以上経過するとLCDモニター表示が自動的に消えるように設定されています。これは電源ボタン以外のいずれかのボタンを押すとLCD表示は点灯します。セットアップメニューに従ってこの省エネ設定を変更することができます。省エネ機能が1分以上働くと電源は自動的に切れます。電源を再度入れたい場合は電源ボタン⑰または再生ボタン⑥を押してください。

以下の状況下では省エネ機能は働きません。

- 動画撮影または音声録音中
- 動画または音声ファイルを再生中
- スライドショーの再生中
- USBケーブルを使ってカメラをコンピュータまたはプリンターに接続中

画面と撮影モードの変更

通常、電源を入れた時は撮影画面になり、プレビューが表示されます。この状態のときに撮影や録音ができます。

再生画面ではLCDモニターに表示されている撮影画像の再生や消去、編集などを行います。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

撮影画面と再生画面の変更

撮影画面の場合、再生ボタン⑥を押すと再生画面に変わります。

再生画面の場合、再生ボタン⑥またはモードボタン⑨を押すと撮影画面に変わります。

撮影モードを選択する

- 1 撮影画面から、モードボタン⑨を押して、シーンモードパレット[図6]を表示します。
- 2 4方向コントロールを使ってお望みのボードを選び、設定ボタンを押して設定してください。



[図6]

撮影モードアイコン

 プログラム	撮影条件に適した設定をカメラが選択
 動画	動画を記録する
 録音	音声を録音する
 Qモード	慣れていない人でも容易に撮影可能
 ポートレート	主要な被写体に焦点を合わせて背景をぼかす
 風景	広い景色を撮影するときのモード
 夕日	日没時の撮影で赤い色調を強調した撮影
 逆光	測光を変えて逆光の被写体を撮影
 スマイルキャプチャ	人物の一番明るい笑顔を撮影
 キッズ	動いている子供の静止画を撮影
 夜景	背景の夜景を取り入れて被写体を撮影
 花火	シャッタースピードを落として花火を撮影
 雪景色	海岸や雪景色を撮影
 食べ物	彩度を上げて食べものを鮮やかに撮影
 建物	建物のエッジを強調した撮影
 文字	白黒のコントラストを強調したいとき

ASM(露出)モードの選択

1

撮影画面(P16)から、ASMボタン^⑩を押します。

1回押すごとに「絞り優先」、「シャッター優先」、「マニュアル露出」の切り替えを行います。

- 動画モードまたは音声録音モードに設定されているときはASMモードへの設定はできません。
- さらに詳しい説明についてはP30をご参照ください。

メニューの使い方

撮影メニューを表示した状態で、4方向コントロールとSETボタン⑫を使ってお望みの設定を行います。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

撮影メニュー

- 1 カメラの電源を入れて撮影画面にします。
- 2 メニューボタン⑦を押して撮影メニューを表示します。[図7]
- 3 4方向コントロールの◀▶を使って撮影メニューを選びます。
- 4 4方向コントロールの▲▼を使って設定を変更します。
- 5 メニューボタン⑦またはSETボタン⑫を押して設定を確定します。



[図7]

撮影メニューリスト

メニュー	可能な設定	頁
解像度		25
画質		25
測光		35
ホワイトバランス	AWB(オート)	35
ISO	Auto / ISO50 / ISO100 / ISO200 / ISO400 / ISO800 / ISO1600	36
露出	-2.0~+2.0EV	36
撮影モード	オフ /	29
AEB	オフ /	36
ハイライト	オフ /	36
シャープネス	オフ /	37
写真編集(効果)	オフ / モノクロ / セピア / ネガ / 赤 / 緑 / 青	37
日付	オフ / 日付 / 日付 + 時間	37
手ぶれ軽減	オフ / オン	38
フェイストラッキング	オフ / オン	38
フォトフレーム	オフ / フレーム 1 ~ 10	38
デジタルズーム	オフ / オン	26

動画撮影メニューリスト

メニュー	可能な設定	頁
動画サイズ		32
測光		35
ホワイトバランス	AWB(オート)	35

設定メニュー

- 1 カメラの電源を入れて、撮影画面、または再生画面にします。
●再生画面にするには再生ボタン⑥を押します。



4方向コントロール
(上下▲▼左右◀▶)

- 2 メニューボタン⑦を押して、メニュー画面を開きます。
●メニュー画面の表示は、再生画面[図8]になっているか、撮影画面[図9] になっているかでメニュー表示は変わります。



[図8] 再生画面時

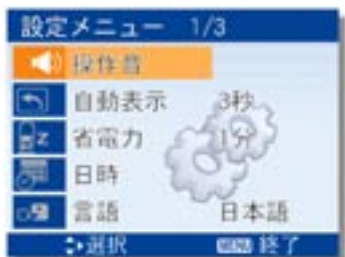
- 3 4方向コントロールを押してセットアップ(マーク)を選択します。次にSETボタン⑫を押して設定メニューを表示します。
[図10]

- 4 4方向コントロール▲▼を使ってメニューアイテムを選択し、次にSETボタン⑫を押してサブメニューを立ち上げます。



[図9] 撮影モード時

- 5 4方向コントロール▲▼を使って任意アイテムを選び、SETボタン⑫を押して設定します。メニューボタン⑦を押してメニューを閉じます。



[図10]

設定メニューリスト

メニュー	機能
操作音	[シャッター]:シャッター音のオン・オフ設定 [スタートアップ]:スタート音の設定 [動作音]:動作音の設定 [ボリューム]:上記音声と再生音のボリュームの調整
自動表示	[Off]/[1秒]/[3秒]/[5秒] 撮影後に選択した秒数画像を表示します。([Off]は表示無し)
省電力	[1分]/[3分]/[5分] 電力消費を抑えるために所定の時間だけ自動的にカメラの電源をオフにします。 ※ある状況下ではこの機能は働きません(P15参照)。
日時	日付と時間を設定します(P11参照)。
言語	メニューやその他の情報表示は日本語を含め、21の言語が用意されています。
ファイル番号	“フォルダを作成できません”のエラー表示が出た場合やナンバリングを変更したい場合、この機能を使います。 [続き]:ファイル消去時や新しいメモリーカードの挿入時も、前の画像番号と連続した番号で保存したい場合 [リセット]:メモリーカードを替えるたびにナンバリングを再設定したい場合 ※画像をコンピュータにダウンロードするときファイル名が重複するのを避けることができます。
TV放送方式	標準アクセサリーのAVケーブルを使ってテレビに画像を表示することができます(P51参照)。お住まいの地域によってNTSCかPALに設定してください。 [NTSC]:米国、日本その他 [PAL]:ヨーロッパ、オセアニアその他
USB	[コンピュータ]/[プリンター] カメラをUSBケーブルでコンピュータに接続する場合、ドライバソフトのインストールを行います(P52参照)。

メニュー	機能
起動画像	撮影した静止画を起動画像として使用します (P50参照)。
フォーマット	<p>メモリーカードを使っているときにカード内の全データを消去したい場合、またはメモリーカードを使っていない場合で内蔵メモリーの全データを消去したい場合に用います：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「お待ち下さい」のメッセージが表示されるとメモリーカードのフォーマット設定が開始されます。 ● フォーマット設定が完了すると「完了」のメッセージが表示されます。 ● プロテクトされたデータを含め、全データが消去されます。重要なファイルはフォーマットを開始する前に必ずコンピュータにダウンロードしてください。
電池の種類	カメラがバッテリーレベルを正しく表示できるように、正しいタイプのバッテリーを使ってください： アルカリ / NiMH / リチウム / オキシライド
すべてリセット	<p>全メニューとボタン操作を初期設定に戻します。 ※ただし、以下の設定は変更されません：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日付と時間 ● 言語設定 ● TV Out設定 ● バッテリータイプ

基本的な撮影

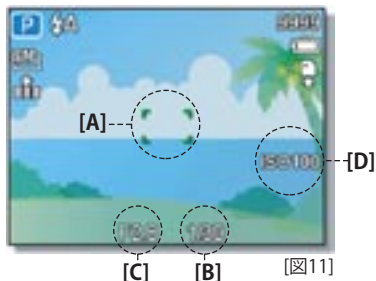
静止画の撮影

- 1** 電源ボタン⑰を押してカメラの電源を入れます。

●撮影モードの状態です。

- 2** LCDモニター⑪上で構図を決めます。

●撮影したい被写体にフォーカスエリア[A]を合わせてください。[図11]

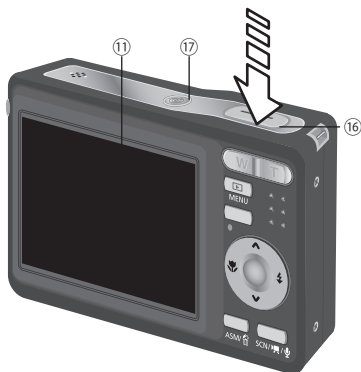


- 3** シャッターボタン⑯を半押しして焦点を合わせます。

●焦点が合うとフォーカスエリア[A]がグリーンに変わり、次にシャッタースピード[B]、絞り値[C]、ISO感度[D]が表示されます。

●シャッタースピードが遅い場合や画像がボケる恐れのある場合、手ぶれ警告アイコン👉がLCDモニターに表示されることがあります。これを避けるには、撮影時にカメラを安定させるための三脚を使ってください。

- 4** シャッターボタン⑯を押しこんで撮影します。



! ご注意

●指やストラップがレンズをさえぎることがないように注意してください。

Qモードの使い方

Qモードを使うとカメラ操作が簡単になります。

アイコンが大きくなりコントロールが少ないので初心者や年配者にも撮影が容易になります。[図12]

Qモードでは基本的な設定のみが使用可能になります。



[図12]

ボ タ ン	フラッシュボタン：オート / 赤目 / 強制オン / スローシンク / 強制オフ
	マクロボタン：オン・オフ
	SET/DISPボタン：OSD オン / 指標線 / OSD オフ
メ ニ ュ ー	解像度：8M / 3:2 / 16:9 / 6M / 4M / 2M / VGA
	ドライブモード：オフ / 2秒 / 10秒 / 10秒ダブル / 連続撮影
	手ぶれ軽減：オン・オフ
	フェイストラッキング：オン・オフ
	フォトフレーム：10フレームから選択可能
	音声：オン・オフ
オートレビュー：オフ / 1 sec. / 3 sec. / 5 sec.	

●以下に記載するその他の設定はコントロールされません。









固定設定※1	<ul style="list-style-type: none"> ●画質:S.Fine ●ハイライト:オフ ●測光:マルチ ●シャープネス:ノーマル ●ホワイトバランス:オート ●効果:オフ ●ISO:オート ●日付スタンプ:日付と時間 ●露出:オート ●デジタルズーム:オフ ●AEB:オフ
ユーティリティ 設定※2	<ul style="list-style-type: none"> ●シャッター音 ●ファイルナンバー ●スタートアップ音 ●TV Out ●電力セーブ ●USB ●日付と時間 ●スタートアップ画像 ●言語





※1:固定設定:設定はQモードでは固定されます。

※2:ユーティリティ設定:最後に使ったモードと同じモードになります。

画像サイズと画質の設定

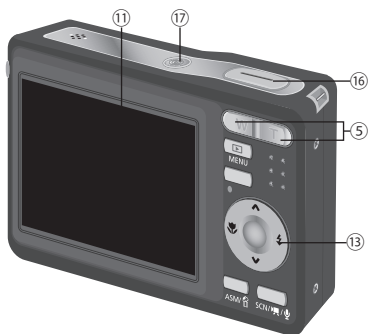
画質設定を低くすると画像サイズが小さくなり、より多くの画像の撮影が可能になります。お望みの画質を目的に従って適切に設定してください。設定の詳細はP18「撮影メニュー」をご参照ください。

画像サイズ		プリントサイズ
 8M	3264 x 2448	A4サイズより大きなプリントに 
 3:2	3264 x 2176	
 16:9	3264 x 1840	
 6M	2816 x 2112	
 4M	2272 x 1704	
 2M	1600 x 1200	
 VGA	640x480	はがきサイズにプリントまたはEメールに添付

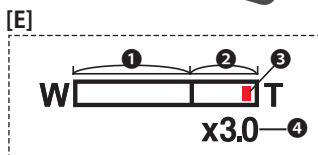
圧縮	プリントサイズ	
 スーパーファイン	高画質での撮影	
 ファイン	通常画質での撮影	
 ノーマル	画像数を増やしたい場合	

ズーム機能を使う

このカメラには光学ズームとデジタルズーム機能が搭載されています。離れた被写体にズームインしたり、広い光景を撮影するためにズームアウトすることができます。光学ズームとはカメラのレンズを機構的に調節して行うズーム機能です。デジタルズームとはソフトウェア処理で画像を拡大したり圧縮したりする機能です。



- 1 カメラの電源⑦を入れます。
●撮影モードの状態です。
- 2 カメラを被写体に向け、ズームボタン⑤を押して構図を決めます。
[W]: 広い風景を撮影する場合
広角撮影(ズームアウト)
[T]: 遠い被写体を引き寄せたい場合
望遠撮影(ズームイン)
●ズームボタン⑤ [T] を押すとズーム指標 [F] がLCDモニター⑪に表示されます。[図13]
●光学ズームは、ズーム位置③が光学ズーム最大値で一時停止します(①)。



[図13]

[T]をさらに押すとカメラは自動的にデジタルズーム(②)になり、さらにズームアップします。この時、下に出る数値はデジタルズーム倍率④です。(最大で4倍まで可能)

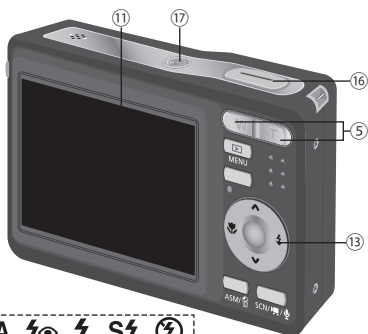
- デジタルズームは動画撮影時には働きません。

- 3 シャッターボタン⑬を押して撮影します。

フラッシュを使う

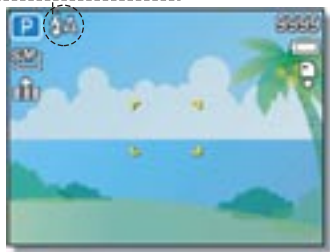
フラッシュは光量が不足している場合だけでなく、被写体が陰になっている場合や逆光のときにも使います。

フラッシュボタンを押して、各種フラッシュモードから必要なモードを選択します。連続撮影や動画の撮影時にはフラッシュは働きません。



- 1** カメラの電源⑰を入れます。
●撮影モードの状態です。

- 2** フラッシュボタン⑬を押してフラッシュモードを選択します。
●フラッシュボタン⑬を押すたびにLCDモニター⑪のフラッシュモードのアイコン [F] が変わります。[図14]



[図14]

- A** オートフラッシュ: 環境光だけでは十分な光量が得られない撮影条件下で自動発光します。
- ☹** 赤目軽減: 被写体となる人の目の網膜が光に反射して赤目現象が起きます。この現象を軽減するため、一度予備発光してから実際の撮影が行われます。
- ⚡** 強制オン: 光量条件に関係なく、撮影するたびに発光します。
- S** スローシンク: 遅いシャッタースピードに合わせて発光します。
- ⓧ** 強制オフ: 暗い場合でも発光しない設定です。

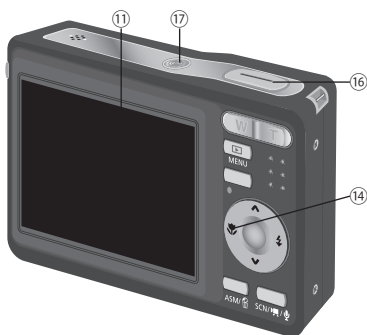
- 3** シャッターボタン⑯を押して撮影します。

! **ご注意** ●バッテリー容量が低下するとフラッシュ充電時間が長くなる場合があります。
●選択している撮影モードによりフラッシュ設定が制限される場合があります。

マクロ機能を使う

このカメラにはマクロ機能が搭載されているので被写体にぐっと接近して撮影することができます。

最短撮影距離(カメラのレンズ面から被写体までの距離)は広角設定時で被写体から15センチ、望遠設定時で40センチです。



- 1** カメラの電源⑰を入れます。
●撮影モードの状態です。
- 2** マクロボタン⑭を押すとマクロアイコン [G] がLCDモニター⑪に表示されます。[図15]
●マクロ機能を終了する場合は、再度マクロボタン⑭を押します。
- 3** シャッターボタン⑯を押して撮影します。



[図15]

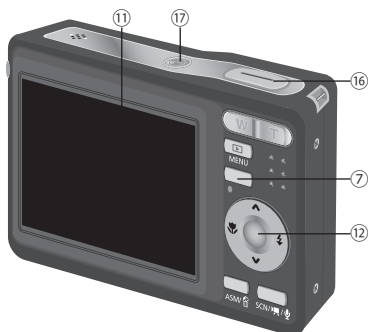
セルフタイマーと連続撮影モードを使う

セルフタイマーを使うとシャッターボタンを押してから実際に撮影が行われまでに所定の時間差が生まれます。連続撮影モードでは静止画を連続的に撮影します。

1 カメラの電源⑰を入れます。
●撮影モードの状態です。

2 メニューボタン⑦を押して、4方向コントロールの◀▶を押し、「撮影モード」を選びます。[図16]

4方向コントロールの▲▼で撮影モードを選び、SETボタン⑩を押します。選択した撮影モードはLCDモニターにアイコン [H] で表示されます。[図17]



[図16]

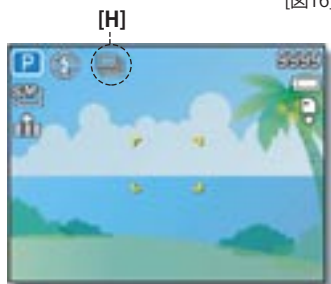
オフ: 単独画像の撮影

🕒 2秒タイマー: シャッターが2秒後に作動します。

🕒 10秒タイマー: シャッターが10秒後に作動します。

🕒 10秒タイマー (2回): シャッターボタンを押してから10秒後と12秒後に2回シャッターが作動します。

📷 連写: シャッターボタンを押し続けると連続撮影し、シャッターボタンを離すと撮影が停止します。



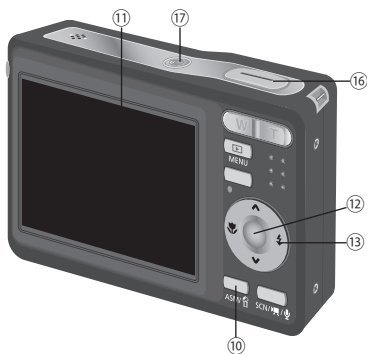
[図17]

? ヒント

●セルフタイマーを使う場合は、三脚を使用するかカメラを安定した平面に置くようにしてください。

このカメラは、絞り優先、シャッタースピード優先、マニュアル露出を任意に設定することができます。

撮影画面からASM/消去ボタン⑩を押すごとに、絞り優先モード→シャッタースピード優先モード→マニュアル露出に切り替わります。



絞り優先モードを使う

このモードでは絞り値を任意に変えることができます。

絞り値が大きくなると、背景もシャープに写ります。絞り値が小さくなると背景がソフトになります。

1 カメラの電源⑩を入れ、撮影画面からASM/消去ボタン⑩を押します。

2 LCDモニター上⑪に表示された絞り値[A]を4方向コントロールの▲▼を押して選択します。[図18]

3 シャッターボタン⑩を押して撮影します。



※絞り値が大きくなるとレンズの口径が小さくなり光量が少なくなります。

シャッタースピード優先モードを使う

このモードではシャッタースピードを任意に変えることができます。シャッタースピードが速くなると動いている被写体でもシャープに撮影できる一方、遅いシャッタースピードは被写体の動きを表現した画像を撮影したり暗い場所でフラッシュを使わずに撮影したりする場合に用います。

1 カメラの電源⑰を入れ、撮影モードからASM/消去ボタン⑩を押します。

2 LCDモニター上⑱に表示されたシャッタースピード値 **[B]** を4方向コントロールの▲▼を押して選択します。[図19]

3 シャッターボタン⑯を押して撮影します。



[図19]

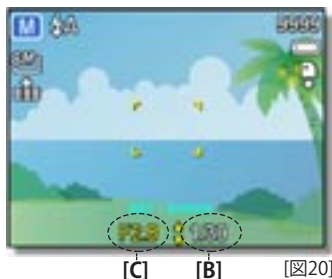
マニュアル露出モードを使う

このモードでは特定の効果を得るために、シャッタースピードと絞り値をマニュアルで設定することができます。

1 カメラの電源⑰を入れ、撮影モードからASM/消去ボタン⑩を押します。


2 LCDモニター上で絞り[C]とシャッタースピード[B]が表示されます。[図20] まず、絞り値を4方向コントロールの▲▼を押して設定を選びます。SETボタン⑫を押して決定し、今度はシャッタースピードを同様に▲▼を押して設定します。

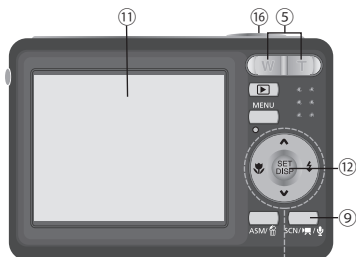
3 シャッターボタン⑯を半押しすると、標準的露出と選択した露出の違いが赤で表示されます。



[図20]

動画を撮影する

- 1 撮影画面から、モードボタン⑨を押して、シーンモードパレットを表示します。
- 2 4方向コントロールを使って「動画」を選び、SETボタン⑫で設定します。[図21]
- 3 撮影したい被写体にフォーカスエリア[A]を合わせます。[図22]
●LCDモニターに可能な動画撮影時間[I]が表示されます。
- 4 シャッターボタン⑯を押して撮影を開始します。
●ズームボタン⑮を使って画像サイズを変更できます。
●ホワイトバランスは最初のフレームの設定時の設定でロックされます。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

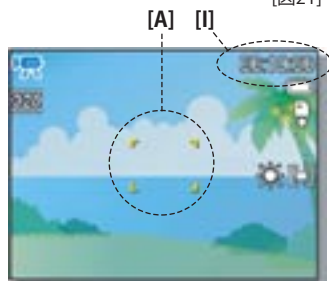


[図21]

！ ご注意


- ※ズーム機能を使用時は音声を記録できません。
- ※デジタルズームは動画撮影時には働きません。

- 5 シャッターボタン⑯を再度押すと録画は停止します。
メモリー容量が限度になるとカメラは自動的に録画を停止します。



[図22]

動画サイズの設定

解像度	<u>16:9</u> 720 x 400	 高画質 低画質	撮影コマ数 / 秒 30 コマ
	<u>640</u> 640 x 480		
	<u>320</u> 320 x 240		

音声メモの録音 / 再生

静止画を撮影した後で、その画像に音声メモを追加することができます。

1 再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

4方向コントロール◀▶で音声メモを付けたい静止画を選びます。

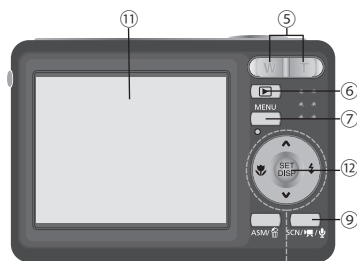
●撮影した画像に既に音声メモがついている場合、🎤がLCDモニター⑪に表示されますが、新しい音声メモを付けると上書きされ、古いメモは消去されます。

2 メニューボタン⑦を押し、4方向コントロールを使って音声メモを選択し、SETボタン⑫を押します。

3 SETボタン⑫を押すと30秒間の録音ができます。[図25]

●再度SETボタンを押すと録音が停止します。

! ご注意 ●動画やプロテクトされた静止画には音声メモを付けることはできません。
●音声メモだけを消去することができます。画像を消去すると、そこに付された音声メモも消去されます。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)



[図25]

音声メモを再生する

1 再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

4方向コントロール▲▼で音声メモ🎤の付いた静止画を選びます。




2 ▲を押すと音声メモの再生を開始します。

▼を押すと音声メモの再生が中止され、▲を押すと一時停止します。
一時停止の状態でも▲を押すと再生を再開します。

その他の記録機能








測光方式を設定する

このカメラでは3種類の測光方式からお望みの方式を選ぶことができます。

測光方式	機能
	像面全体の光量を測光しますが、中心の光量に重点を置きます。
	像面の複数の点からの読み取り値に基づいて露出を決定します。
	像面の中心での単独読み取り値に基づいて露出を決定します。

ホワイトバランスを設定する

日光のあたる場所、白色光(タングステンランプ)または蛍光灯での照明下など、各種異なる光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

測光方式	機能
	自動的にホワイトバランスを設定します。撮影全般に向いています。
	明るい日光の下、または自然の光量条件にホワイトバランスを合わせます。
	曇天の日や夕暮れ時にホワイトバランスを合わせます。
	通常の室内照明条件にホワイトバランスを合わせます。家庭内の照明によるオレンジの色調を補正します。室内の白熱球またはハロゲンランプの照明下でフラッシュを使わずに撮影するのに向いています。
	蛍光灯照明に合わせます。蛍光灯照明によるグリーンの色調を補正します。室内の蛍光灯照明下でフラッシュを使わずに撮影するのに向いています。
	
	ホワイトバランスをさらに正確に調節したい場合や光源が特定できない場合のモードです。



- ホワイトバランスを設定したい条件下で白い紙か類似のものにカメラを向けてシャッターボタンを押してください。

ISO 感度を設定する

当初の設定では、被写体の明るさに合わせてISO感度が自動的に設定されます。

設定値	機能
Auto	ISO感度を自動的に設定します。
ISO 50	ISO感度をISO 50相当に設定します。
ISO 100	ISO感度をISO 100相当に設定します。
ISO 200	ISO感度をISO 200相当に設定します。
ISO 400	ISO感度をISO 400相当に設定します。
ISO 800	ISO感度をISO 800相当に設定します。
ISO 1600	ISO感度をISO 1600相当に設定します。



ヒント

ISO感度を上げると画像のノイズが増えることがあります。シャープな写真を撮りたいときはなるべくISO感度を低く設定してください。

露出値をマニュアルで設定する




室内の反射光(背景が暗いかまたは強い逆光)での撮影の場合など、普通の照明条件と異なる照明条件に合わせて露出値をマニュアルで設定します。

AEB を設定する

AEB(オートエクスポージャーブラケットイング)に設定すると、異なる露出値で3つのショットを連続的に撮影します。適正露出、アンダー露出、オーバー露出の3種類です。

ハイライトを設定する

主要被写体を背景から浮かび上がらせるのに用いる機能です。

3種類の設定ができます:   






ヒント

「フォトフレーム」と「フェイストラッキング」機能はハイライト設定の場合は動きません。


シャープネスを設定する

シャープな写真にするか被写体の輪郭をソフトにするかを選べる機能です。

オプション	機能
	画像のエッジが強調されます。エッジはシャープになりますが、画像ではノイズが発生することがあります。
	画像のエッジがシャープになります。プリントに適しています。
	画像のエッジはソフトになります。コンピュータで画像を編集する場合に適しています。

写真編集(効果)を設定する

撮影モードや再生画面で画像に特殊な効果を追加することができます。

オプション	機能
オフ	特殊効果は適用されません。
	赤目軽減(再生画面のみ設定可能)
モノクロ	画像を白黒に変換します。
セピア	撮影した画像はセピア調で保存されます。
ネガ	撮影した画像を反転します。
モザイク	画像にモザイクを加えます(再生時のみ)。
赤	画像に赤の色調を加えます。
緑	画像にグリーンの色調を加えます。
青	画像にブルーの色調を加えます。

日付スタンプを設定する

撮影した画像に日付を加える機能です。

オプション	機能
オフ	プリントする画像には撮影日や時間が追加されません。
日付スタンプ	プリントする画像に撮影日のみ追加します。
日付&時刻	プリントする画像に撮影日と時間を追加します。

手ぶれ軽減機能を設定する

感度とシャッタースピードを上げることにより、手振れや被写体の動きにより画像がぼけそうな場合もシャープな写真が撮れる機能です。

フェイストラッキングを設定する

フェイストラッキングを設定すると、レンズはメインの被写体に焦点をロックし、動きに追従します。

? ヒント

- シャッターを半押ししてオートフォーカスのエリアがグリーンで表示されている場合は焦点が合っています。
- 特定の条件下ではフェイストラッキングが働かない場合があります。
- フェイストラッキング機能を使っている場合はハイライトとフォトフレーム機能は働きません。

フォトフレームを設定する

静止画に10種類のフォトフレームを適用して写真の見栄えを良くすることができます。

? ヒント

- この機能は静止画のみ適用できます(3:2と16:9を除く)。
- フォトフレーム機能を使っている場合はハイライトとフェイストラッキング機能は働きません。

再生

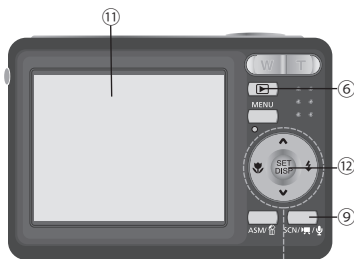
ファイルの再生

静止画を再生する

- 1** 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

●最後に撮影した画像がLCDモニター⑪に表示されます。

●画像が保存されていない場合は「画像なし」のメッセージが表示されます。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

- 2** 4方向コントロール▲▼で画像を送ります。

▼:前の画像を表示します。

▲:次の画像を表示します。

? ヒント ◀▶を押し続けると画像を連続して送ることができます。

動画を再生する

- 1** 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

- 2** 4方向コントロール◀▶で再生したい動画を選びます。
再生を開始するには

▲を押すと再生を開始します。

▼を押すと停止し、▲を押すと一時停止します。

一時停止している場合に▲を再び押すと再生を再開します。

? ヒント

- 動画の再生中、▶を押すと早送り、◀を押すと巻き戻しになります。
- 動画の再生中、▼を押すと停止、▲を押すと一時停止になります。
- 一時停止中にシャッターボタンを押すと、一時停止している動画ファイルからその場面を静止画にすることができます。

静止画を拡大してトリミングする

1 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

2 4方向コントロール◀または▶を使って拡大・トリミングしたい画像を選択します。
●拡大・トリミングできるのは静止画のみです。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

3 画像を拡大するには
●ズームボタン⑤の[T]を押して画像を拡大すると、画像の中心部分が表示されます。[図26]
●4方向コントロールを使って画像の左右上下の各部分を見ることができます。
●メニューボタン⑦を押すと通常のサイズに戻ります。



[図26]

4 画像をトリミングするには
●SETボタン⑫を押してトリミングを選択します。

5 画像を保存するには
●SETボタン⑫を再度押すとトリミングした画像を、その状態で保存することができます。

サムネイルを見る

- 1 再生画面の状態から、ズームボタン⑤の[W]を押すとサムネイルが表示されます。[図27]
- 2 4方向コントロールで画像を選択し、ズームボタン⑤の[T]、またはSETボタン⑫を押すと選択した画像がLCDモニター全体に表示されます。



[図27]

? ヒント

- サムネイル表示の状態では複数の画像をプロテクトまたは消去することができます。詳しくはP43とP45を参照してください。

スライドショーを表示する

- 1 再生画面の状態から、メニューボタン⑦を押し、メニュー画面にします。
- 2 4方向コントロールでスライドショー(🖼️)を選び、SETボタン⑫を押します。



[図28]

- 3 スライドショー設定を変更するには
 - 4方向コントロールを用いてスライドの間隔(🕒)、効果(▶️)および反復(🔄)を選ぶことができます。[図28]
 - スライドの間隔は1秒から10秒の範囲で設定できます。
- 4 スライドショーを開始するには
 - SETボタン⑫を押すとスライドショーが開始されます。
 - スライドショーの間にSETボタン⑫を押すとスライドショーは停止し、SETボタン⑫を再度押すと再開します。

ファイルの消去

単独ファイルを消去する

- 1** 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。

- 2** メニューボタン⑦を押し、メニュー画面にします。



- 3** 4方向コントロールで [画像消去] (🗑️) を選び、SETボタン⑫を押します。
[図29]



[図29]

- 4** 4方向コントロール▲▼で[1枚]を選び、SETボタン⑫を押します。
[図30]



[図30]

- 5** 消去したい画像を4方向コントロール◀▶で選び、SETボタン⑫を押して選択したファイルを消去します。

? ヒント

現在表示されている画像をすばやく消去するには再生画面から

- (1) 4方向コントロール▲▼で消去したい画像を選ぶ。
- (2) ASM/消去ボタン⑩を押して確認を行う。
- (3) SETボタン⑫を押して表示されている画像を消去する。

※プロテクトされた画像はこの機能で消去できません。

複数ファイルを消去する

- 1 再生画面からズームボタン⑤の[W]を押してサムネイル表示にします。
- 2 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にします。
- 3 4方向コントロール◀▶で、[画像消去] (🗑️) を選び、SETボタン⑩を押します。



[図31]

- 4 4方向コントロール▲▼で[選択]を選び、SETボタン⑩を押します。
●選択したファイルのフレームがグリーンに変わります。[図31]
- 5 4方向コントロールでファイルを選択し、SETボタン⑩を押して(🗑️)をオン・オフに切り替えます。消去したい全ファイルに(🗑️)が表示されるまでこのステップを反復します。
- 6 メニューボタン⑦を押します。
※消去を取り消すには、ここで再度メニューボタンを押してください。
(はい)を選んでSETボタン⑩を押すと、選択した全ファイルが消去されます。

全ファイルを消去する

- 1 再生画面から、メニューボタン⑦を押してメニュー画面にします。
- 2 4方向コントロールで消去(🗑️)を選び、SETボタン⑩を押します。
●メニューはフルスクリーンでもサムネイル表示でも開けます。
- 3 4方向コントロール▲▼で[すべて]を選択し、次にSETボタン⑩を押します。[図32]
- 4 SETボタン⑩を押すとプロテクトされていないファイルは全て消去されます。



[図32]

ファイルのプロテクト

単独ファイルのプロテクトする

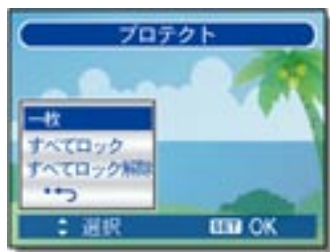
- 1 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。
- 2 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にします。
- 3 次に4方向コントロールを使って[プロテクト] (On) を選び、SETボタン⑫を押します。[図33]
- 4 4方向コントロール▲▼を使って[1枚]を選び、SETボタン⑫を押します。[図34]
- 5 4方向コントロール◀▶を使ってプロテクトしたいファイルを選択し、SETボタン⑫を押してそのファイルをプロテクトします。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)



[図33]



[図34]

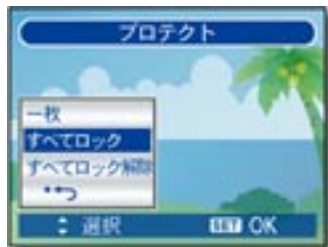
? ヒント ファイルがロックされている場合、(マーク)がLCDモニターに表示されます。

- 複数のファイルをプロテクトするには上記4と5のステップを反復します。
- ファイルのロックを解除するには、ステップ5でSETボタン⑫を再度押します。(マーク)が消えてファイルのロックが解除されます。

全ファイルをプロテクトする

1 再生画面からメニューボタン⑦を押してメニュー画面にします。

2 4方向コントロールで〔プロテクト〕(On)を選び、SETボタン⑫を押します。
●メニューはフルスクリーンでもサムネイルでも開くことができます。



[図35]

3 4方向コントロール▲▼で〔すべてロック〕を選び、SETボタン⑫を押します。[図35]ファイルのロックを解除するには、ここで〔すべてロック解除〕を選び、SETボタン⑫を押します。

4 SETボタン⑫を押して全ファイルをプロテクトします。

複数ファイルをプロテクトする

1 再生画面から、ズームボタン⑤の〔W〕を押してサムネイル表示にします。

2 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にし、4方向コントロールで〔プロテクト〕を選び、SETボタン⑫を押します。

3 4方向コントロール▲▼で〔選択〕を選び、SETボタン⑫を押します。[図36]

●選択したファイルのフレームがグリーンに変わります。

4方向コントロールを使って画像を選びます。

●SETボタンで(On)のオン・オフを行います。プロテクトしたい画像が(On)のアイコン表示されるまでこのステップを反復します。

4 メニューボタンを押し、次に〔Yes〕を選んでSETボタン⑫を押します。選択した画像は全てプロテクトされます。

●プロテクトを取り消すには、このステップでメニューを押します。



[図36]

画像の編集（静止画のみ）

画像を回転する

- 1 電源を入れ、再生ボタン⑥を押して、再生画面にします。
- 2 4方向コントロールを使って回転したい画像を選びます。
- 3 メニューボタン⑦を押して、メニュー画面にし、4方向コントロールで〔回転〕(回)を選び、SETボタン⑫を押します。
- 4 SETボタン⑫を押すたびに画像が時計方向に90度回転します。[図37]
- 5 4方向コントロール▲▼を押して〔保存〕を選び、SETボタン⑫を押して回転を完了します。
●回転した画像が上書き保存されます。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)



[図37]

画像サイズを調整する

- 1 再生画面の状態から、4方向コントロールを使ってサイズ変更をしたい画像を選びます。
- 2 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にし、4方向コントロールを使って〔サイズ調整〕(尺)を選択し、SETボタン⑫を押します。
- 3 4方向コントロール▲▼でサイズ(5M、3M、1M、VGAの4種類)を選択し、SETボタン⑫を押します。
●サイズ変更された画像が新しいファイルとして保存されます。

! ご注意 ●この機能は大きいサイズの画像を小さくすることはできますが、小さいサイズの画像を大きくすることはできません。

画像に特殊効果を追加する

赤目軽減モードを使うと、フラッシュ使用によるオリジナル画像の中の赤目を軽減することができます。

その他にも、モノクロやセピア、ネガ、モザイクなどに加え、赤／緑／青といったカラーフィルターを使って保存することもできます。

- 1** 再生画面の状態から、4方向コントロールを使って特殊効果を加えたい画像を選びます。
- 2** メニューボタン⑦を押し、4方向コントロールを使って〔写真編集〕(📷)を選び、SETボタン⑫を押します。
- 3** 4方向コントロール▲▼でオプションを選び、SETボタン⑫を押します。
●編集された画像が新しいファイルとして保存されます。

画像にフォトフレームを追加する

- 1** 再生画面の状態から、4方向コントロールを使ってフォトフレームを追加したい画像を選びます。
- 2** メニューボタン⑦を押し、4方向コントロールを使って〔フォトフレーム〕(🖼️)を選び、SETボタン⑫を押します。
- 3** 4方向コントロール▲▼でフォトフレームを選び、SETボタン⑫を押してフレームを追加します。
●編集された画像は新しいファイルとして保存されます。

ファイルのコピー

カメラの内蔵メモリーのデータをメモリーカードにコピーすることができます。

- 1 カメラの電源をOFFにしてメモリーカードを挿入してください。
(P9参照)

- 2 カメラの電源を入れて、再生ボタン⑥を押してカメラを再生画面にします。

- 3 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にし、4方向コントロールを使って[カードへコピー] (📄) を選び、SETボタン⑫を押します。[図38]

- 4 4方向コントロール▲▼を使って[1枚]を選び、SETボタン⑫を押します。
●全画像をメモリーカードにコピーするには、[すべて]を選びます。

- 5 4方向コントロール▲▼を使ってカードにコピーしたい画像を選びます。

[はい]を選択し、SETボタン⑫を押すとコピーを開始します。[図39]
メニューボタン⑦を押すと設定を完了します。

- 他の画像もコピーしたい場合は**4**から**5**のステップを反復します。



[図38]




[図39]

DPOF

デジタル・プリント・オーダー・フォーマット (DPOF) 設定を使うと、カメラを使って、プリントしたいメモリーカード内の画像を選択し、事前にプリント数を指定することができます。この機能は、ダイレクトプリント機能対応プリンタでプリントするために画像をフォトプリントサービスに送るときに極めて便利です。

1 カメラの電源を入れ、再生ボタンを押して再生画面にします。

2 メニューボタンを押し、4方向コントロールを使ってDPOF () を選択し、SETボタン⑫を押します。



[図40]

3 4方向コントロール▲▼で[1枚]を選び、SETボタン⑫を押します。

- 全画像にDPOFを適用したい場合、ここで[すべて]を選びます。
- 全DPOF設定をリセットして初期設定に戻したい場合、ここで[リセット]を選びます。

4 4方向コントロール◀▶でプリントしたい画像を選びます。

プリント枚数を設定します。[図40]

- ▲または▼を押してプリント枚数を指定します。
- プリント枚数は0から30まで設定できます。
- DPOF設定を取り消したい場合、プリント数を0に設定します。

5 日付スタンプを入れたい場合

- 表示されている画像に日付スタンプを入れたい場合、SCNを押します。再度押すと日付スタンプを加えなくなります。
- 他のプリントしたい画像も4から5のステップを反復します。

全ての設定を終えた後、設定またはメニューボタンを押すとその設定が適用されます。

起動画像の選択

カメラが起動してから撮影画面のプレビュー表示するまで、表示したい画像を設定することができます。

1 カメラの電源を入れて、再生ボタン⑥を押してカメラを再生画面にします。

2 メニューボタン⑦を押してメニュー画面にし、4方向コントロールを使って〔起動画像〕(♥)を選び、SETボタン⑫を押します。

3 4方向コントロール◀▶を使ってご希望の画像を選び、SETボタン⑫を押して適用します。
●〔完了〕メッセージが表示されます。

4 再生画面からメニューボタン⑦を押してメニュー画面にし、「設定」を選んで、設定メニューを表示します。

5 4方向コントロール▲▼を使って〔起動画像〕(♥)を選び、SETボタン⑫を押して起動画像メニューを表示します。

6 [起動画像]のサブメニューから4方向コントロール▲▼を使って以下からお望みのオプションを選び、SETボタン⑫を押して確定します。[図41]

- 〔オフ〕スタートアップ画像表示無
- 〔システム〕カメラの初期設定画像
- 〔マイ画像〕ステップ3で指定した画像を表示します。

7 メニューボタン⑦を押してメニューを閉じます。

! ご注意 ● 起動画像に適用されている元の画像が消去された場合やメモリーがフォーマットされた場合でも起動画像は消去されません。



4方向コントロール
(上下▼▲左右◀▶)

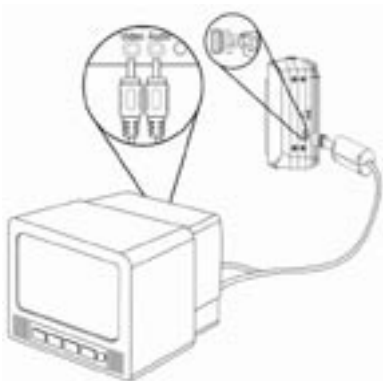


[図41]

他の機器への接続

テレビに接続する

AVケーブルを使って、撮影した画像をテレビに映し出すことができます。



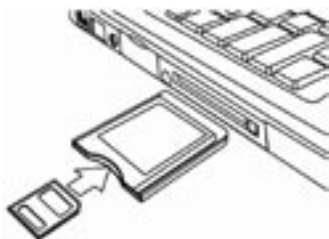
- 1** お使いのテレビ方式にテレビ出力を合わせます (P21参照)。
- 2** カメラとテレビの電源を切ります。
- 3** AVケーブルを使ってカメラをテレビに接続します。
- 4** テレビとカメラの電源を入れ、テレビを外部入力信号に設定します。
●詳細については、お使いのテレビの説明書を参照してください。
- 5** テレビに映します。
●カメラのLCDスクリーンに表示されるもの、たとえば写真、動画、スライドショー、イメージキャプチャーまたはビデオキャプチャーなどは全てテレビに表示されます。

コンピュータに接続する

カメラの内蔵メモリーまたはメモリーカードから撮影画像をコンピュータにダウンロードするには以下の2つの方法があります。

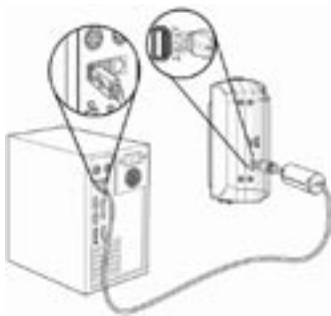
カードリーダーを使う方法

- 1 カメラからメモリーカードを取り出し、コンピュータに接続されているカードリーダーに挿入します。
- 2 コンピュータのメモリーカードを示しているリムーバブルドライブのアイコンをダブルクリックします。
- 3 カードからコンピュータのハードディスク内のお望みのディレクトリに画像をコピーします。



USB ケーブルを使ってカメラをコンピュータに接続する方法

- 1 付属して供給されたCD-ROMに含まれているUSBソフトウェアドライバをインストールします。
- 2 同梱のUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続し、カメラの電源を入れます。
 - コンピュータの接続が完了するとカメラのLCDモニター表示が消えます。
- 3 [マイコンピュータ]または[ウィンドーズエクスプローラ]を開きます。[リムーバブルディスク]がドライバリストに表示されます。
- 4 [リムーバブルディスク]のアイコンをダブルクリックして内容を見ます。
 - カメラに保存されているファイルは(DCIM) という名称のファイルに入っています。



付帯情報

フォルダとファイル名について

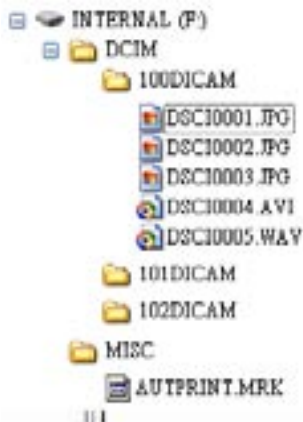
このデジタルカメラは、静止画や動画およびその他の情報を整理するために、内蔵メモリーまたはメモリーカード内にフォルダのディレクトリを作り出します。

フォルダ構造

フォルダ名は100から999までの3桁数字で始まり、後に“DICAM”が続きます。

各フォルダは9999までのファイルを収容します。

新しいフォルダが作られると、連続番号のフォルダ名になります。



ファイル名

ファイル名は“DSCI”で始まり、以降4桁の数字が続きます。

新しいフォルダが作られるとファイル名は0001から開始して付けられます。

最大フォルダ名が999、最大ファイル名が9999になると、[フォルダを作れません]の警告がカメラに表示されます。この表示が出た場合、以下のいずれかの方法を取ってください。

- ファイル名をリセットして新しいメモリーカードを入れる。
- フォルダ名とファイル名を初期化し、100と0001から再度ナンバーを振る。

! ご注意

コンピュータを使って、カメラのメモリーカードのフォルダ名やファイル名を変更しないでください。
カメラを使ってデータを再生できなくなることがあります。

故障かなと思ったら

問題点	原因	解決方法
電源が入らない	バッテリーの方向の誤り	正しい方向に入れ直してください
	バッテリーの容量がない	交換または再充電してください
	バッテリーカバーが開いている	しっかりと閉じてください
撮影できない	フラッシュの充電中	充電完了までお待ちください
	メモリーがいっぱい	新しいメモリーカードをお使いください
	メモリーカードが正しくフォーマットされていない	カードの不良が考えられるので新しいカードをお使いください
シャッターボタンを押しても撮影ができない	フラッシュの充電中	充電完了までお待ちください
	メモリーがいっぱい	新しいメモリーカードをお使いください
フラッシュが光らない	オフに設定されている	オフ以外の設定にしてください
画像がぼけている (焦点が合わない)	撮影時にカメラを動かした	撮影するときはカメラをしっかりと保持してください
	被写体がカメラのオートフォーカス範囲外だった	カメラから15~40センチの距離の被写体の場合はマクロモードにしてください 離れた被写体の場合はマクロモードを使わないでください。
画像がLCDモニターに表示されない	DCIF非対応の画像(他のカメラで撮影した画像)が記録されたカードが入っている	このカメラはDCIF非対応の画像を表示できません
撮影した画像がメモリーに保存されない	画像をメモリーに保存する前に電源を切ったか、バッテリーの容量がなくなった	バッテリー容量警告表示が出たらすぐにバッテリーを交換してください
USBケーブルで接続しても画像をコンピュータに送れない	USBドライバがインストールされていない	カメラをコンピュータに接続する前にUSBドライバをインストールし、その上でカメラの電源を入れてください
カードのエラー	メモリーカードのフォーマットが正しく行われていない	ウインドウズの場合、FATフォーマットを使ってメモリーカードを再フォーマットしてください。

仕 様

センサー	8メガピクセルCCD、サイズ:1/2.5インチ	
レンズ	焦点距離:f=6.2 (W) ~18.6 (T) mm, 光学ズーム3倍(デジタルズーム4倍)	
LCDモニター	2.5インチ LCDモニター	
撮影距離	通常モード:80cm~∞、 マクロモード:(W) 15cm~1m(T) 40センチ~1メートル	
開放F値	F/2.8 (W), F/5.2 (T)	
シャッター	8~1/2000秒	
ファイル フォーマット	静止画:EXIF 2.2対応フォーマット (JPEG圧縮)、DCF対応 DPOF対応 (PictBridge対応)	
解像度	静止画	3264 x 2448 (8M) / 3264 x 2176 (3:2) / 3264 x 1840 (16:9) / 2816 x 2112 (6M) / 2272 x 1074 (4M) / 1600 x 1200(2M) / 640 x 480 (VGA)
	動画	720 x 400 / 640 x 480 / 320 x 240
シーンモード	プログラム / ムービー / 音声録音 / Qモード / ポートレート / 風景 / 日没 / 逆光 / スマイルキャプチャー / 子供 / 夜景 / 花火 / 雪 / 食品 / 建物 / 文字	
感度	オート / ISO 50 / ISO 100 / ISO 200 / ISO 400 / ISO 800 / ISO 1600	
ホワイトバランス	オート / デイライト / 曇り / タングステン / 蛍光灯 (H) / 蛍光灯 (L) / カスタム	
露出制御	-2EV~+2EV、1/3ステップ	
測光方式	中央重点 / マルチスポット	
連続撮影	メモリーの容量による(限度なし)	
セルフタイマー	2秒 / 10秒 / ダブル	
フラッシュ	オート / 赤目軽減 / 常時オン / スローシンク / 常時オフ	
特殊効果	白黒 / セピア / ネガ / モザイク / 赤目軽減 / 赤 / 緑 / 青	
データ保存	16メガバイト内蔵メモリー / SDカード	
テレビ方式	NTSC / PAL	
供給電源	単3アルカリ電池2個	
周囲温度	動作:0℃~40℃、保管:-20℃~60℃	
マイクロフォン	内蔵	
スピーカー	内蔵	
寸法	本体(幅×高さ×厚さ)89.5×61.3×27mm	
重量	本体(バッテリー含まず)約125g	

ファンクションリスト

ファンクション		モード						
		P	A	S	M			
フォーカス	オートフォーカス	●	●	●	●	●	●	×
	連続オートフォーカス	×	×	×	×	×	×	×
	無限遠固定	×	×	×	×	×	×	●
シャッタースピード		1~ 1/2000	8~ 1/2000	8~ 1/2000	8~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000
マクロ	オフ	○	○	○	○	●	●	●
	オン	○	○	○	○	○	×	×
フラッシュ	オート	◆	×	×	×	○	×	×
	赤目軽減	○	○	○	○	○	●	×
	Force on	○	○	○	○	○	×	×
	スローシンクロ	○	○	○	○	○	×	×
	強制オフ	○	●	●	●	○	○	●
調整	絞り	×	○	×	○	×	×	×
	シャッタースピード	×	×	○	○	×	×	×

◆:出荷時設定

●:初期設定

○:利用可能機能

×:利用不能機能

静止画撮影


撮影シーンモード


											
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---


メニュー

×	●	×	×	●	×	●	●	●	●	●	×
×	×	●	●	×	×	×	×	×	×	×	×
●	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×
1~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000	8~ 1/2000	2秒固定	1~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000	1~ 1/2000	1/15~ 1/2000	×

●	●	●	●	●	○	●	○	●	×	●	×
×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	○	×
×	×	×	×	×	×	●	●	●	×	×	×
×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×
×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×
●	○	○	○	○	●	○	○	○	●	×	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

 : モードスイッチまたは電源が切られた場合も残る設定

 : 働かなくなる機能

 : 電源を切った後に〔オフ〕に設定する







ファンクションリスト

ファンクション		モード						
		P	A	S	M			
解像度	8M	◆	○	○	○	○	○	○
	3:2	○	○	○	○	○	○	○
	16:9	○	○	○	○	○	○	○
	6M	○	○	○	○	○	○	○
	4M	○	○	○	○	○	○	○
	2M	○	○	○	○	○	○	○
	VGA	○	○	○	○	○	○	○
動画サイズ	16:9	×	×	×	×	×	×	×
	640	×	×	×	×	×	×	×
	320	×	×	×	×	×	×	×
画質	スーパーファイン	○	○	○	○	●	○	○
	ファイン	◆	○	○	○	×	○	○
	スタンダード	○	○	○	○	×	○	○
測光	中央部重点	○	○	○	○	×	○	○
	マルチ	◆	○	○	○	●	●	●
	スポット	○	○	○	○	×	×	×




ファンクションリスト

ファンクション		モード						
		P	A	S	M			
ホワイトバランス	オート	◆	○	○	○	●	●	●
	デライト	○	○	○	○	×	×	×
	曇り	○	○	○	○	×	×	×
	タングステン	○	○	○	○	×	×	×
	室内 (H)	○	○	○	○	×	×	×
	室内 (L)	○	○	○	○	×	×	×
	カスタム	○	○	○	○	×	×	×
ISO感度	オート	◆	○	○	×	●	●	●
	50	○	○	○	○	×	×	×
	100	○	○	○	●	×	×	×
	200	○	○	○	○	×	×	×
	400	○	○	○	○	×	×	×
	800	○	○	○	○	×	×	×
	1600	○	○	○	○	×	×	×
露出	+0.3 ~ +2.0	○	○	○	×	×	×	×
	0 EV	◆	○	○	×	●	●	●
	-0.3 ~ -2.0	○	○	○	×	×	×	×

ファンクションリスト

ファンクション		モード						
		P	A	S	M			
撮影モード	オフ	◆	○	○	○	○	○	○
	2秒タイマー	○	○	○	○	○	○	○
	10秒タイマー	○	○	○	○	○	○	○
	10秒タイマー(2枚)	○	○	○	○	○	○	○
	連写	○	○	○	○	○	○	○
AEB	オン	●	●	●	●	●	●	●
	オフ	○	○	○	×	×	×	×
ハイライト	オフ	◆	○	○	○	×	×	×
		○	○	○	○	×	×	×
		○	○	○	○	×	×	×
		○	○	○	○	×	×	×
シャープネス	高	○	○	○	○	×	×	●
	スタンダード	◆	○	○	○	●	●	×
	低	○	○	○	○	×	×	×

ファンクションリスト

ファンクション		モード						
		P	A	S	M			
写真編集(効果)	オフ	●	●	●	●	●	●	●
	モノクロ	○	○	○	○	×	○	○
	セピア	○	○	○	○	×	○	○
	ネガ	○	○	○	○	×	○	○
	赤	○	○	○	○	×	○	○
	緑	○	○	○	○	×	○	○
	青	○	○	○	○	×	○	○
日付スタンプ	オフ	◆	○	○	○	×	○	○
	日付スタンプ	○	○	○	○	×	○	○
	日付&時刻	○	○	○	○	●	○	○
手ぶれ軽減	オフ	◆	○	○	○	○	○	○
	オン	○	○	○	○	○	○	○
フェイストラッキング	オフ	◆	○	○	○	○	○	●
	オン	×	○	○	○	○	○	×
フォトフレーム	オフ	◆	○	○	○	○	○	○
	1~10	○	○	○	○	○	○	○
デジタルズーム	オフ	○	○	○	○	●	○	○
	オン	◆	●	●	●	×	○	○



Rollei GmbH
Salzdahlumer Straße 196
D-38126 Braunschweig
Germany
eMail sales@rollei.com.hk
www.rollei-asia.com